

日本医療史事典 —トピックス 1722-2012

日外アソシエーツ編集部 編

A5・460頁 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2431-6 2013年9月刊行



9784816924316

291年にわたる3,300件を収録

●日本初の公設無料病院“小石川養生所”が開設された1722(享保7)年から2012年まで、291年間にわたる日本の医療史に関するトピック3,354件を年月日順に掲載した記録事典です。

この一冊で医療史の流れがわかる

●医療制度の導入・整備、医療機関の設立、医療技術の発達と普及、医療倫理をめぐる議論、医療関連の事故など幅広い出来事を収録、日本社会における医療史の流れを俯瞰することができます。

●「分野別索引」「事項名索引」付き。

【収録トピック例】

江戸時代

小石川養生所、『解体新書』、華岡青洲、種痘、シーボルト

明治～昭和期

医学所、医制、北里柴三郎、日本医師会、日本赤十字、医師法、薬事法、医療保険制度、結核、赤痢、がん、肝炎、医師不足、サリドマイド、水俣病、予防接種

平成期

遺伝子治療、介護保険制度、O-157、薬害エイズ、新型インフルエンザ、脳死、臓器移植、出生前診断、iPS細胞 …etc.

1722年
(享保7年)

内容
見本

- 1.21【政策】小川笙船、目安箱に貧民対策を投書 「赤ひげ先生」の愛称で知られる江戸の町医者小川笙船、将軍への訴願のための目安箱に貧民対策を投書する。8代将軍徳川吉宗は江戸町奉行の大岡忠相に命じて養生所の設立を検討させる。
- 12.4【施設】小石川養生所設立 江戸幕府、町医者小川笙船の建議により、小石川薬園内に小石川養生所を設立。小川が肝煎、岡丈庵・林良適らが医師に任命された。窮民に治療を施すための施設で、床数は40、通院治療も行った。享保の改革での貧民対策の一つで、幕末まで貧民救済施設として機能した。なお、小石川白山御殿跡に開設されていた小石川薬園は、全国の薬草を栽培して薬の価格を引き下げるために、1721年8月に広さ約4万5000坪に拡充されていた。

近世から現代まで
専門技術だけでなく
社会的なトピックも掲載

2012年
(平成24年)

- 1.19【病気】エイズ指針改正 厚生労働省、「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の全部を改定する件」を告示。エイズに対する正しい知識の普及啓発、検査・相談体制の充実、患者の人権尊重などを盛り込む。
- 1.24【治療】インフルエンザウイルスの構造解明 東京大学医科学研究所のグループ、インフルエンザウイルスの内部の立体構造を世界で初めて解明したと発表。2009年に新型インフルエンザとして世界的に流行し、のち季節性となったインフルエンザのウイルスで、電子顕微鏡で撮影した画像をコンピューター・グラフィックスで立体的に再現したもの。治療薬の開発につながる者として期待。
- 2.3【病気】インフルエンザ流行 全国的にインフルエンザが大流行し、42都道府県で「警報」レベルを超えた。この10年で最悪の流行となり、2月末までに患者数は175万人に達した。
- 2.10【制度】診療報酬改定 中央社会保険医療協議会(中医協)、2012年度の診療報酬改定について答申。往診による看取りや緊急時・夜間対応の報酬を手厚くするなど、介護報酬改定とも連動して、在宅医療の牽引に重点が置かれたものとなった。医

2016.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	日本医療史事典—トピックス 1722-2012	
		定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2431-6	冊
			冊
	■お名前		